

令和6年度上大久保中学校だより

上中だより

第2号

令和6年5月2日(木)発行

学校教育目標

「温かい学校 感動あふれる学校」

さいたま市立上大久保中学校

〒338-0824 さいたま市桜区上大久保861-1 TEL.855-3901

<http://kamiokubo-j@saitama-city.ed.jp>

「調べてみると・・・」 校長 ^{たかく}高久 ^{まさゆき}正行

桜で満開の始業式・入学式から3週間以上が経過し、周囲の樹木もすっかり鮮やかな緑で一杯になり、すっかり初夏を感じられるようになりました。学年・学級開き、係・委員会決め等を経て、授業がスタートし、先日、1年生の部活動への本入部となりました。登校時の元気な挨拶を始め、教室や校庭などから聞こえてくる先生や生徒の声を聞きながら、様々な教育活動が本格的に始まったと改めて感じています。大型連休が明けると、すぐに中間テストが控えていますが、体調面に気を配りながら、自分のペースで一步一步着実に日々の生活を送ってくださることを願っています。

さて、この大型連休中には国民の祝日が4日（年間16日あります！）と、5月1日の「さいたま市民の日」があります。「さいたま市民の日」は、「市の歴史や文化に親しんでいただき、市民の皆さんと一緒に、魅力ある市を将来にわたって創っていくことを期する日」として、市誕生20周年を契機に、さいたま市が誕生した5月1日を「さいたま市民の日」として制定しました。」との説明がホームページにあります。2021年に制定された新しい記念日です。

一方、国民の祝日である「昭和の日」「憲法記念日」「みどりの日」「こどもの日」については、政府広報オンラインには次のような説明がありました。

「昭和の日」→激動の日々を経て、復興を遂げた昭和の時代を顧み、国の将来に思いをいたす。

「憲法記念日」→日本国憲法の施行を記念し、国の成長を期する。

「みどりの日」→自然に親しむとともにその恩恵に感謝し、豊かな心をはぐくむ。

「こどもの日」→こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する。

「憲法記念日」と「こどもの日」は、昭和23年（1948年）に制定された祝日を定める祝日法にありましたが、「昭和の日」と「みどりの日」は、平成19年（2007年）から始まったとあります。特に、「昭和の日」は、昭和前半は「天長節」（1927～1947年）、その後は「天皇誕生日」（1948～1988年）、昭和天皇崩御後は自然の恩恵に感謝する「みどりの日」（1989～2006年）になり、さらに「昭和の日」（2007年～）と、名前が何度も変更になっています。「みどりの日」は、「昭和の日」が新たに制定されることに伴い、5月4日に移った形になりますが、それ以前は、5月4日は、祝日（憲法記念日）と祝日（こどもの日）の間の日に当たることから、祝日法の規定により休日とされていました。

このように、祝日の由来や変遷を調べてみるだけでも、いろいろなことがわかりました。私たちの身の回りにも当たり前のように決まっていることがたくさんありますが、それらについてちょっと調べてみるだけで、新たな発見があり、何か得をした気分になることもあるのではないのでしょうか。今の時代、スマートフォンさえあれば、すぐに多くの情報が得られたり、わからないことを調べたりすることができます。何か疑問に思った際は、すぐに調べてみる習慣をつけることも楽しいことなのではないでしょうか。

先日、気象庁から向こう3カ月（5月～7月）の天候の見通しが発表されました。それによると、「暖かい空気に覆われやすいため、気温は全国的に高いでしょう。」とのことでした。また、環境省は、以前から運用してきた「熱中症警戒アラート」に加え、気温が特に著しく高くなり熱中症による人の健康に対する重大な被害が生じるおそれのある場合に、新たに「熱中症特別警戒アラート」を発表することとし、4月24日から運用を開始されたとの報道もされていました。そこで、早速、インターネットで調べてみると、「熱中症警戒アラート」と「熱中症特別警戒アラート」の違いが環境省のHPに出ていました。

○熱中症警戒アラート：

発表基準：府県予報区等内の暑さ指数情報提供地点のいずれかにおいて、日最高暑さ指数が33以上となることが予測される場合

発表時間：前日の午後5時または当日の午前5時

○熱中症特別警戒アラート：

発表基準：それぞれの都道府県内の全ての暑さ指数（WBGT）情報提供地点において、翌日の日最高暑さ指数が35以上となることが予測される場合に発表。

発表時間：前日の午後2時

今年も猛暑が気になるころですが、この2つのアラートをしっかり把握して、本年度も生徒の健康面に配慮した教育活動を行っていかねばとの思いを強くしました。改めて、情報を正確に収集してしっかり理解することの大切を実感できる機会ともなりました。私自身、今後も「すぐに調べる」を習慣化していきたいと思っています。

なお、本年度から、衣替えというものをなくし、「天候や個人の体調に合わせて、夏服、冬服どちらを着用してもかまわない」としました。その結果、4月中から、ワイシャツ姿で登校する生徒も多く見かけられるようになりました。

